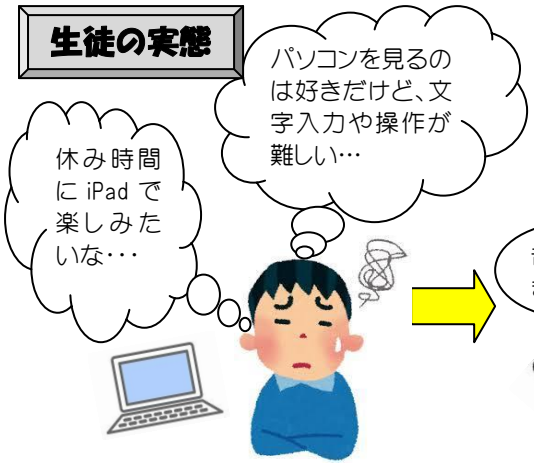
生徒の余暇生活を豊かにする授業の工夫
～iPad 機器を活用した授業実践～

県立小出特別支援学校　中学部1年　上村剛司　村山優美

生徒の実態



目指す姿

休憩時間に iPad で検索やアプリを楽しむことができる！

将来は…iPad を、使い充実した時間を過ごすことができる！

指導プログラム

ステップ1　iPad を知る

①iPad の機能を知る
（インターネット検索･カメラ･動画･アプリ）
②基本操作を見る、知る、やってみる

起動、かな入力、音声入力、検索ジャンルの選び方、トップ画面への戻り方、ホーム画面への戻り方、シャットダウン

ステップ2　iPad を使う

①基本操作をやってみる
②好きなことを検索する（音声 or かな入力）
・興味関心に応じたリストの中から個々に選択
③カメラ、動画で撮影する
④アプリを楽しむ

使用アプリ

学習
タップナンバー、かなもじ
星座パズル

操作が単純なゲーム
パンケーキタワー
ババ抜き、サラリー麺

リズムに合わせるゲーム
ドラパッド、太鼓の達人
妖怪体操

難易度があがるゲーム
いらいら棒、パンダゴーカート、とびなっしー

ステップ3　iPad を一人で使う

基本操作と検索の検定
・一人で操作、検索できる力の確認
・次の目標の明確化→学ぶ意欲付け

指導の工夫

個に応じた
視覚的支援の活用

全体が分かる一覧の手順表
→多くの情報の中から、自分で必要な情報を選べる生徒用

ポイントが分かるめくり式手順表
→一指示一行動のタイプの生徒用

イラスト入りの検索内容選択カード
→一人一人の興味関心に合わせたもので、検索したい内容を想起させ決定するための手掛かり

学習の足跡
スクリーンショットで検索した内容を記録する
→自分が調べた情報が蓄積され、関心をもった事柄が分かる

課題

△ **単元内の検定の実施時期の検討：**生徒が目標をもち、意欲的に学習に取り組むためには、早い段階から検定を実施する必要があった。また、生徒へも検定内容を伝える工夫をしたい。

△ **単元の時数確保：**8時間では余暇を豊かにするところまでは至らなかった。小学校･中学校の情報教育を参考にし、単元構成を検討したい。

△ **今後の展開：**お楽しみ会の企画、運営の中で、レシピやレクを調べる等の目的意識をもたせた活動を仕組む展開を考えていきたい。

△ **検定表の妥当性：**iPad の操作マニュアルや日本語ワープロ検定試験等を参考に、検定項目を精選したい。